

## 砂川市長 善岡 雅文



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、穏やかに新しい年をお迎えることと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、多くの皆様からあたたかいご支援、ご協力と、市政全般に対するご意見をいただきながら、市政運営を進めることができましたことに厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、砂川市にとっては、激動の1年でありました。6月には飲酒運転等が原因となった5人が死傷するというたいへん痛ましい交通事故が発生し、市・議会・市民が一丸となって交通事故の再発防止に努めているさなかに北海道警察本部より砂川警察署の統合・分庁舎化が示されたところであります。

一方、砂川市民の念願でありました高速道路の出入り口である砂川S.A.スマートインターチェンジが8月に開通したほか、質の高い医療・介護サービスを効率的に提供

することができると期待される地域包括ケアネットワークシステムの運用開始、保育料の負担軽減措置等の少子高齢化対策を図るなど、いつまでも安心して暮らし続けることができるまちづくりに取り組んだところであります。

このほか、耐震性や利便性に課題のある市役所庁舎の整備について市民の意見を聴く「庁舎整備検討委員会」を設置し、さまざまなご意見をいただき、市役所庁舎は「建て替えを行う方向」で今後、検討を進めていくことといたしました。

今日、全国的に少子高齢化が進み、地方においては人口減少社会に入っているなか、砂川市においても例外ではなく、人口減少の抑制対策が喫緊の課題となっていることから、人口ビジョンと地方版総合戦略の策定に向けて多くの方々からのご意見をいただきながら進めております。

今後においても、子育て支援の充実や住環境の整備による定住対策などを重点的に推進し、人口減少に歯止めをかけていきたいと考えております。

終わりに、ことしの干支は「申」であります。「さる」は「去る」を意味し、「悪いことが去る」「病が去る」など幸せを運ぶものともいわれております。新しい年が市民の皆様にとりまして喜びと幸せに満ちあふれた年となりますことを心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

# あいさつ

砂川市議会議長 飯澤 明彦



あけましておめでとうございます。  
市民の皆様におかれましては、健やかに  
そして希望に満ちた新春をお迎えのことと、  
心からお慶び申し上げます。

私も議員一同は、昨年の統一地方選挙  
において議席を与えていただき、新たな議  
会活動をスタートさせ、これまで市長と  
もに二元代表制の一翼を担っていること  
を踏まえ、行政の諸課題解決に向けて積極  
的に取り組んでまいりました。この間の市民  
の皆様から寄せられました温かいご指導や  
ご厚情に対しまして厚くお礼を申しあげま  
す。

昨年を顧みますと、市内では、6月に国  
道12号において、飲酒運転などを原因とす  
る重大な交通事故が起り、一家5人が死  
傷するという痛ましい出来事がありました。  
さらに、7月には市議會議員が酒気帯び運  
転で事故を起こして逮捕されるという、  
あってはならない事件が起り、市民の皆  
様にはたいへんご迷惑をお掛けいたしまし  
た。市議会としても、12月には議員提案に

よる砂川市飲酒運転撲滅に関する条例を制  
定し、議員自ら襟を正し、市をあげて飲酒  
運転撲滅に向け取り組んでいく所存であり  
ます。

また、昨年設置いたしました議会改革特  
別委員会では、市民に開かれた議会、議会  
の活性化に向けた取り組み、議員定数につ  
いて協議を進めており、市民に身近な、よ  
り信頼される議会を目指すため、議会改革  
に取り組んでまいります。

一方、8月には待望の砂川S Aスマート  
インターチェンジが開通したほか、J A新  
すながわのブランド米「ゆめぴりか」が全  
道コンテストで最高金賞を受賞したことや、  
「すながわスイーツ」を地域ブランドとして  
確立させるため、北海道で初めて「ふるさと  
名物応援宣言」を発表したことは、まちの魅  
力が高まり、今後の観光振興や地域産業の  
活性化などに期待がかかるものであります。  
私も議員一同、市民の代表として、そ  
の役割と責任の重さを自覚するとともに、  
決意も新たに、豊かで住みよいまちづくり  
を目指して全力で取り組んでまいります。

この1年が市民の皆様にとりまして、幸  
せ多きすばらしい年でありますよう心から  
お祈り申し上げます、新年のごあいさつ  
といたします。

本年もよろしく

お願い申し上げます

平成28年 元旦

砂川市議會議員一同



新年のご